

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	その人らしい暮らし本人の思いを尊重しながら「本人はどう思っているのか」という視点に立って職員が利用者に合わせていく姿勢や実践を目指していく必要がある。	利用者が前向きな意思や気持ちを引き出せるよう個々のニーズを叶える。	利用者の気持ちに向き合い、寄り添いながら一緒に過ごす時間を通して「今出来る事」「今出来る可能性がある事」に着目し、全体像を把握し総合的な見極めを図る。	6ヶ月
2	13	職員間で知識や意識の格差がないように研修機会を確保する必要がある。	職員の技術や知識を身につけ質の向上を図る。	利用者のBPSDの症状を正確に捉え、関わりの中で人として援助者としてチームの一員として日常的に学びの機会を持ち段階的、計画的に理解や習熟度に応じた研修に取り組む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。